

## 1993年異常気象下における大規模稲作農家の生産費

中原秀人・横山利幸・藤吉 臨・今林惣一郎（福岡県農業総合試験場）

Hideto NAKAHARA, Toshiyuki YOKOYAMA, Nozomu FUJIYOSHI and  
Souichiro IMABAYASHI : Rice Production Cost of Large Scale  
Rice Farming under Abnormal Weather in 1993

## 1. はじめに

1993年産水稲は、冷夏、長雨、日照不足に加え、台風6、7、13号の来襲により記録的な不作（作況指数74：福岡県）となった。そこで、本報では県内の代表的な大規模稲作農家の当年度での生産費、収益性の調査を行い、異常気象下での農家の対応の実態を把握するとともに、1994年産稲作への対応を明らかにする。

## 2. 調査対象農家の概況

調査対象農家は、5戸の大規模稲作農家（水稲作付面積5ha程度以上）を対象とした。調査対象農家5戸のうち、A・B・C・E農家の4戸は専業農家であり、D農家は兼業農家である。

## 3. 調査結果及び考察

## 1) 栽培技術及び経営の特徴

水稲作付面積10haを超えるA・B農家は、三葉苗を用いた慣行栽培を行い、各作業の機械化により省力化を図っている。C・D・E農家は成苗を用い、以下に述べる各種の栽培法で集約管理を行っている。C農家は一部の圃場で除草剤を使用しない無農薬栽培を、D農家は基肥を施用せず追肥重点の栽培を、E農家は一部の圃場で特別栽培米用の有機栽培を行っている。

圃場は、A・B・D農家はまとまった団地であるのに対し、C・E農家は分散が大きい。また、A・E農家は転作に他用途利用米を作付している。

## 2) 1993年産収量

10a当たり平均収量は、407kgから495kgと大きな差がある。また、平年収量に対する減収率も3%から23%で農家間で幅があり、減収率は地域別、熟期別に一定の傾向は見られない。しかし、調査農家の減収率はいずれも当該市町村の平均減収率よりも低く、大規模農家の技術対応の高さが見られる。

## 3) 生産費

1992年産の生産費が明らかでないため、年次間の比較

は出来ない。しかし、聞き取り調査の範囲では、各農家とも1993年度は穂肥の散布量をやや控えたことと農家によっては防除回数を増やした程度で、異常気象下にもかかわらず10a当たり生産費に大きな影響はなかったと考えられる。

従って、調査農家の10a当たりの生産費は、作付規模の差としてあらわれ、面積の多い農家ほど少なくなった。

60kg当たり生産費は、B農家の14,625円からD農家の21,840円まで幅があり、規模との関係が10a当たり生産費ほど明確にはあらわれない。

以上のように、10a当たりの生産費は異常気象の影響が少ないと考えられるが、60kg当たり生産費は減収のため上昇したと考えられる。

## 4) 収益

10a当たり粗収益は、143,724円から211,830円まで農家間で差が大きい。粗収益の差は、収量と販売単価の差が反映している。60kg当たり販売単価は、21,040円から27,860円である。販売単価の差は、品種と栽培方法（無農薬栽培等）、販売方法（特別栽培米等）による。

異常気象による10a当たり所得への影響は、経営費の変動が少なかったため、減収率と販売価格によって異なる。また、転作を他用途米で対応した農家では、他用途米の政府米価格買い取りによって、所得の低下が軽減された。

## 4. 1994年産水稲作への対応と意向

1994年の水稲作付面積は、B・C・D農家で基盤整備完了や他用途利用米により拡大した。

品種選定、販売方法への対応は、大規模稲作農家の中でも作付規模によってその対応は異なる。10haを超える作付規模のA・B農家は、多収品種の比率を高め低コスト化を指向している。10ha未満のC・D・E農家は、良食味品種を主体として特別栽培米等、一部集約管理をとまないながら販売単価の高い水稲生産を指向している。

第1表 1993年産水稲作の状況

	A農家	B農家	C農家	D農家	E農家	福岡県平均
水稲作付面積	13.7ha	11.7ha	7.5ha	6.1ha	4.8ha	-
10a当たり収量	408kg	413kg	407kg	415kg	495kg	363kg
減収率	9%	12%	23%	14%	3%	26%
10a当たり全算入生産費	108,573円	110,668円	132,476円	151,059円	166,461円	173,421円（98%）
60kg当たり全算入生産費	15,967円	14,625円	19,530円	21,840円	20,177円	27,310円（126%）
10a当たり労働時間	10.6h	13.6h	26.4h	16.5h	27.4h	38.9h（100%）
10a当たり粗収益	143,724円	150,200円	189,008円	161,911円	211,830円	125,574円（87%）
10a当たり所得	61,733円	87,494円	124,088円	71,128円	117,314円	40,084円（66%）

注）（ ）内は前年比 資料：福岡県平均は米麦生産費調査結果